

質疑応答（Q. 会場からの質問, A. 講演者回答, C. 会場からのコメント）

【4. “スキル標準—標準化人材に必要なスキルの評価”の公表後の検討】

小町 祐史（発表者）, 黒川 利明, 高橋 茂樹

追加質問可（2013-12-20 まで）

概要：

経済産業省の委託事業として、標準化人材のスキル標準を開発し今年2月に提出した。しかし時間的な制約があったので、いくつか修正が必要であることがわかった。大きく分けると、①編集上の修正、②内容に関する修正、③国際的なスキル標準とするための修正である。

これらの修正を入れた改訂版を開発する必要がある、ネットワーク上に SG-SSS を立ち上げて対応している。ここでは、SG-SSS による①の概要を報告している。

このスキル標準に対する期待や国際的な関心があるため、今後はそれらに対応できるようにする組織的な活動が求められる。

Q. スキル標準を提出したときに、いくつかの企業が試してみると表明していたと思うが、その後の様子はどうか。

A. 問い合わせや報告は受けていない。発表内容で示したように、スキルカードにはいくつかの問題点があり、運用しようとするればその問題に気づくであろう。報告がないということは、未だ実運用に入っていないと思われる。

Q. 技術理解力に関する評価項目が1つしかないのが問題ということだが、技術分野によってそれぞれ異なった評価方法が必要になると思う。それで、むしろこの項目は削除して、成果などで代替評価してはどうか。規格をとりまとめたということは、それなりに技術理解力があることを示している。

A. 成果は他人の支援のもとにできたのかもしれない、どれだけ本人が技術的に貢献したのかはわからない。

Q. スキルカードは標準化活動をやっている人の評価には使えると思うが、これから標準化活動を始めようというレベル0の人を評価するにはちょっと難しいように思う。どのように使えば良いのか。

A. レベル1は、レベル0を含めて構成されている。

Q. 初心者と初級者がある。これから始めようとする人には教育が必要。レベル1は一通りの教育を受け実践スキルがこれからの人だと思う。レベル1の項目は教育目標として使うのがよいかもしれない。

A. 業績評価は比較的容易だが、能力評価は難しい。大学院入試で研究能力を測り難いのに似ている。業績の中に能力は反映されているが、時間的要素を考慮する必要がある。